

注目のイベント

松ぼっくりで ミニクリスマスツリーを つくろう



イメージ

松ぼっくりをビーズやポンポン、カラスプレーなどで飾り付け。

小さくて可愛い、ミニクリスマスツリーをつくりましょう♪

日時：10/20(土)、27(土)、
11/3(土・祝)、10(土)、
17(土)、24(土)、
12/1(土)、8(土)、15(土)、22(土)
10:00～15:00(最終受付)

会場：佐野美術館 1階ロビー

参加費：400円(1個)

※申込不要・入館券不要・随時参加可能

その他のイベント

2018.10-12

おさるのジョージ展 会期中

●11/10(土)、24(土)
読み聞かせ&ワークショップ

佐野美術館賛助会 ミューズクラブ 後期会員募集(10月～3月)

入会案内

ミューズクラブとは、佐野美術館の賛助と会員の交流を目的とした団体です。特典として、展覧会入館料無料やご案内の発送はもちろん、秋の庭園コンサートや館蔵品特別鑑賞講座、芸術鑑賞日帰りバス旅行といった会員交流イベントなども開催しております。

年度更新のため、10月からご入会いただくと年会費は半額となります。

たくさんの方のご入会をお待ちしております。

会員期間	4月～翌年3月 (※年度更新、随時会員募集中)
年会費	正会員 10,000円 ゴールド会員 20,000円 特別会員 100,000円

10月からのイベント

(平成30年10月～平成31年3月)

●十三夜の宴

10月21日(日)

●館蔵品特別鑑賞講座～日本刀編～

11月23日(金・祝)

●歌舞伎座鑑賞日帰りバス旅行

平成31年1月中のいずれか1日

お問い合わせ・ご入会は
佐野美術館賛助会
ミューズクラブ事務局(村崎)まで

常設展示室

2018年度常設展示ケース第三期【9.8(土)～12.24(月)】のご案内です。

第三期テーマ／日本刀 浮世絵とともに

浮世絵に描かれた人気の武将と、それにまつわる刀剣をおたのしみください。

出品予定作品

- 月岡芳年《月百姿》 大判錦絵 明治18～25年(1885～1892)(個人蔵)
- 太刀 銘 景則 (個人蔵)
- 国宝 太刀 銘 一 (個人蔵)
- 重要美術品 脇指 銘 相模国住人広光/康安二年十月日(号 火車切)
- 黒呂色塗大小拵



国宝 太刀 銘 一 鎌倉時代 個人蔵

REBORN 蘇る名刀

平成31年1/7(月)～2/24(日)

刀剣が蘇るとはどういうことでしょうか？

日本は長い歴史の中で、度々災害に襲われてきました。その度に、多くの文化財が灰埃に帰し、永遠に失われました。

刀剣も例外ではなく、火災に遭い、しかし奇跡的に焼け跡から救い出されたものがありま

す。

そして「再刃^{さいは}」という手段によって、再び輝きを取り戻したのです。長い歴史の中で様々なドラマを目撃し傷つきながらも蘇り、現在にまで守り伝えられた刀剣をご紹介します。

短刀 銘 行光(名物 不動行光) 鎌倉時代 個人蔵



連載 其の三十

渡邊妙子館長の

ひとこと
いいかしら？

父の炉端ものがたり

戦後、私たち家族は、疎開先の山梨県から東京都南多摩郡柚木村に入植した。子供たちは小学六年以下三人、祖父母・両親と若い書生が三人家は父を頭領に天地根・元造という小屋を造り、夜の明かりは石油ランプ、炉の火、月明かりであった。皆で炉を囲んだ夕食後、父は摩訶不思議な話をよくした。大体は忘れたが、心に残った物語がある。

ある村で、夕日が落ちた頃、旅姿の一人の坊さんが農家の玄関でお経をあげた。家の中は人の気配もない。坊さんはお経が終わると、隣農家の玄関に立ちお経をあげようとした。すると明かりが消え、人々が息を潜めていた。坊さんは農家の家々を回りお経をあげた。そして、庄屋と考える農家の前に立つと、裏口から主人が出てきて坊さんを家の中にいざない、事の顛末を語った。

村には、お寺があり、坊さんと小僧さんがいた。真面目な坊さんで村人から慕われていた。ところがある時、村に使いに来ていた小僧が来なくなつたので、村人がそつとお寺の様子をうかがいにいった。なんと、お坊さんが、小僧の体を切り刻んで食べていた。それ以後、お坊さんは村の子供をさらって食べるようになった。以来、村は日が落ちると子供たちを家に入れ坊さんの気配があると恐怖で明かりを消し、ジーンとしていたのだと。

「わかりました。私がお寺へ参りましょう」と暗闇の中を旅姿の坊さんは寺へ向かった。明け方、村人たちは昨夜の坊さんを心配しながら寺へむかった。本堂の扉は広く開かれ、涼やかな読経の声流れできた。

INFORMATION 2018.10-12 展覧会スケジュール

さんしんギャラリー 善

さんしんギャラリー 善は、伊豆・県東部の創作活動を支援する目的で、三島信用金庫が100周年記念事業の一環として開設しました。佐野美術館が運営を委託されたギャラリーです。

- 10/1(月)～10/24(水) 鈴木竜一朗(写真)
- 11/2(金)～11/25(日) 石井亨(染色)
- 12/1(土)～12/25(火) 鈴木秀昭(陶芸)

お問合せ：さんしんギャラリー 善
〒411-0857 静岡県三島市芝本町 12-3
TEL 055-991-0034 <http://www.sanshin-zen.jp>

鈴木竜一朗 「望景 -MIKAGE-」



開館時間：10:00～17:00(入館の受付は16:30まで)
休館日：毎週木曜日(祝日の場合開館)／
展示替期間中／年末年始(12/25～1/6)

交通案内
JR三島駅南口より
・南へ1.3Km左側
・東海バスオレンジシャトル(4番のりば：新城橋行き又は大平車庫行き)／三島循環バス「せせらぎ号」(1番のりば)で「佐野美術館」下車
・伊豆箱根鉄道に乗換え「三島田町駅」下車徒歩3分
東名沼津I.C.より
・伊豆箱根方面へ8Km、三島玉川交差点を左折、二つ目信号を右折
東名裾野I.C.より
・南へ13Km
新東名長泉沼津I.C.より
・伊豆箱根方面へ10Km
※駐車場あり。混雑時には市営駐車場(有料)もありますのでご利用ください。